

## 航空宇宙産業クラスター拠点工場 試験室導入試験器紹介

公益財団法人 南信州・飯田産業センター 工業技術センター

航空宇宙産業クラスター拠点工場 表面処理工場棟内試験室（飯田市松尾明）に、腐食促進試験機と高温クリーブ試験機を新規導入しました。ぜひ、ご利用下さい。

### 《導入機器名》

#### ①塩水噴霧・キヤス試験機 (CAP-90V-4Z) スガ試験機株式会社 (平成26年度)



#### 特徴および用途

金属・プラスチックの表面に塩水・キヤス液を噴霧し、腐食の進行状況を調べます。

- 試験規格：IS09227、JIS Z 2371  
JIS H 8502、ASTM B 117 他
- 試験温度 35℃～50℃
- 噴霧溶液 5%中性塩水・酢酸塩水・キヤス液
- 試験槽内寸法：90cm×60cm×40cm
- 試験片枚数：48枚（ISO、JIS 準拠の試験片）
- 試験片取付角度：6°、15°、20°

使用料金	塩水噴霧試験	2,700円 (最初の24時間)	1,900円 (追加24時間)
	キヤス試験	3,000円 (最初の24時間)	2,300円 (追加24時間)
但し、キヤス試験後に、塩水噴霧試験を行う場合は、24時間以上の洗浄が必要となります。			

依頼試験	塩水噴霧試験	3,700円 (最初の24時間)	2,900円 (追加24時間)
	キヤス試験	4,000円 (最初の24時間)	3,400円 (追加24時間)
但し、キヤス試験後に、塩水噴霧試験を行う場合は、24時間以上の洗浄が必要となります。			

(平成26年度地域オープンイノベーション促進事業)

#### ②高温クリーブ試験機 株式会社島津アクセス (平成27年度)



#### 特徴および用途

金属材料に一定時間（100時間以上）の荷重を加え、伸びや破壊性能を評価する。また、金属材料に温度（300℃～900℃）を加え、伸びや破壊性能を評価する。

- 試験規格：JISG0567 試験片、ASTM F-519 試験片  
治具交換により、JIS 高温クリーブ試験  
遅れ破壊試験の両方が可能
- 形 式：縦型2重てこ式クリーブ試験機
- 最大負荷容量：50kN(5t) てこ比 1:50
- 荷重精度：指示値の±0.5%以内
- 温度試験炉：300℃～900℃
- 最大試験力：50kN (800℃以下)、20kN (900℃)

使用料金	遅れ破壊試験	200円 (100時間まで)	125円 (100時間超)
	高温試験	700円 (100時間まで)	590円 (100時間超)
依頼試験	遅れ破壊試験	600円 (10時間まで)	500円 (10時間超)
	高温試験	1,030円 (10時間まで)	920円 (10時間超)

# 高温クリープ試験機



## 機器の紹介

金属試験片に300℃～800℃の温度をかけながら、一定荷重を長時間(1000時間)加えて、生じる変形と経過時間との関係を測定し、伸びや破壊限度などを評価する。



## 機器の主な仕様

最大負荷容量: 50kN

制御温度範囲: 300℃~900℃

最大試験力: 50kN(800℃以下)  
20kN(900℃)



メーカー名: (株)島津アクセス

型式: 縦型2重てこ式クリープ試験機



## 活用事例

表面処理や熱処理を施した金属材料を一定時間引っ張り、伸びの状態や破壊の状態を測定。ASTM F519に適合。また、高温試験装置を取り付けることにより、JISに規定されている高温クリープ試験も可能。

●所在地: 〒395-0003 長野県飯田市上郷別府3338番地8

●連絡先: 0265-52-1630

●URL: <http://www.isilip.com/>